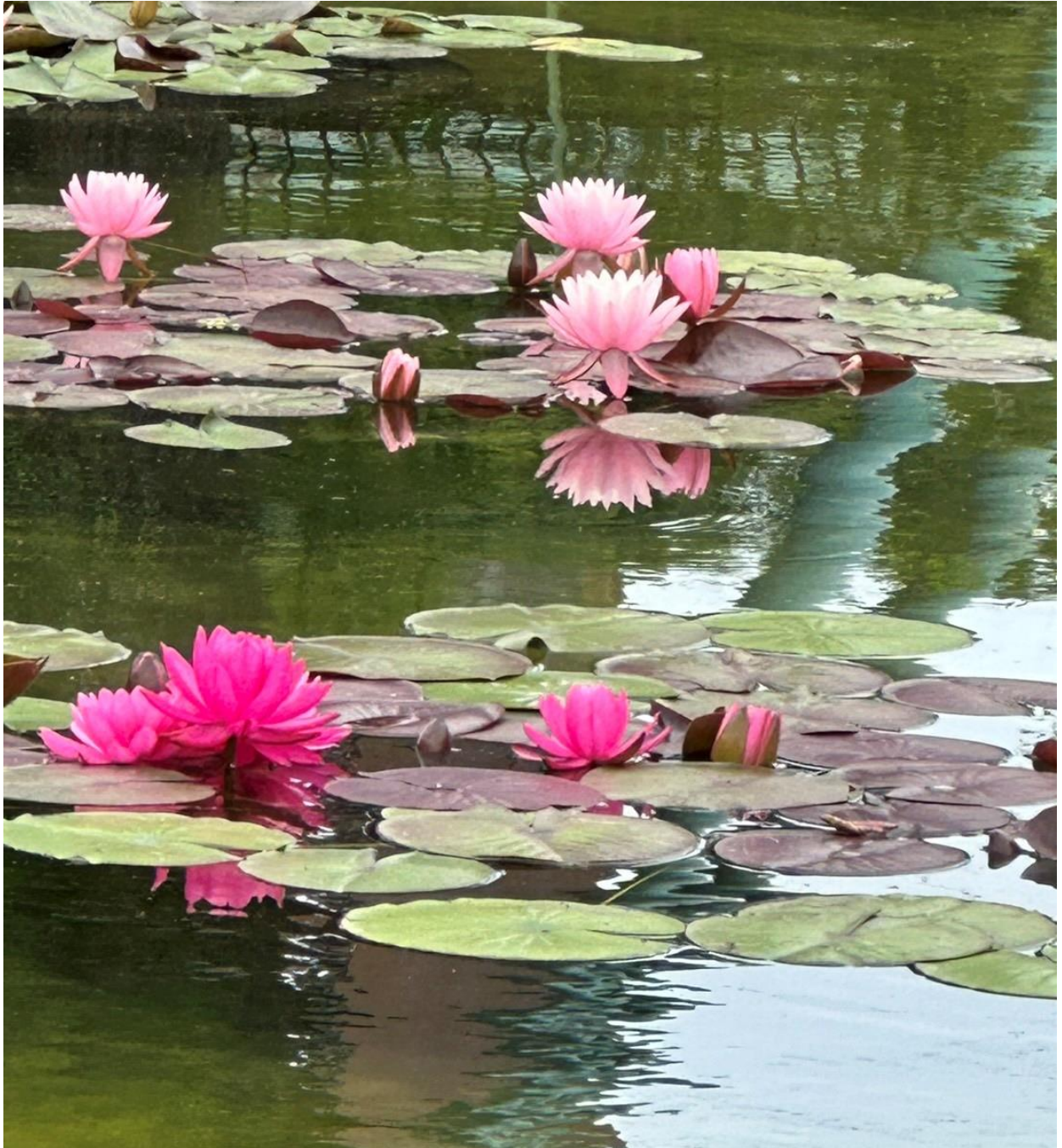




天白こじょう会だより

111号 2024/7



発行/天白こじょう会
名古屋市高年大学鯉城学園

項目	タイトル	投稿者	頁
表紙	蓮（東山動植物園）	加藤 真知子	－
目次	－	－	2
会長挨拶	来期につなげる1年	小島 明	3
総会・役員会 報告	総会報告	青山 博美	3～4
	役員会報告（2月～5月）		5～6
新役員挨拶	副会長就任にあたって	坪井 徹	7
	総務グループリーダーに就任して	若原 高生	
	行事グループリーダーに就任して	新田 元廣	
新入会員 自己紹介	37期生 自己紹介（13名） 岩月 由紀恵、大槻 繁、岡部 真知子、小倉 政二、熊田 文子、小宮山 千恵子、 白木 春美、虎澤 敬彦、中島 あけ美、仁井 淑子、間瀬 芳枝、村田 一延、 窪木 英心		8 ～ 12
活動報告	研修会「今後自分らしく生きるための知識」に参加して	市川 正信	13
	第14回OB文化祭を観覧して	青山 博美	14
	名古屋ウィメンズマラソン2024 ボランティアに参加して	戸谷 和代	15
	地域散策「旧八事村を訪ねて」	市川 正信	16
	総会後に懇親会を開催しました	新田 元廣	17
	『新入会員歓迎 5年ぶり大パーベキュー大会』開催される	石谷 清和	18
	パソコン研究会・ランチ会を開催しました	金丸 正美	19
	御幸山ブロックの令和5年度第3回ブロック会を開催	佐々山 浩将	19
自由投稿	「岩松、久吉、音吉の故郷の知多郡小野浦を訪ねて」	斉藤 昌和	20～ 21
	フラトレ® 聞いたことありますか？	池田 雅子	22
	「麻雀同好会」からのお願い!!	佐々山 浩将	
行動予定表	7月～11月	青山 博美	23
巻末	訃報、編集後記、編集スタッフ	事務局	24

会長挨拶

来期につなげる1年

天白こじょう会 会長
32期 地域B 小島 明

前期は5年ぶりに全ての行事を企画通り実行する事が出来ました。
これもひとえに会員の皆様のご協力と感謝申し上げます。

行事企画の体験作品の「みんなの作品展」への展示は他区の方からも評価して頂き、又今期も引き続き実施させて頂く事になりました。ボランティアにおいても5年ぶりに特別養護老人ホーム「ほほえみ」にてギター伴奏による歌を入居者の皆さんと一緒に歌う企画が定例化となり、今後の展開の一つとして評価出来たと思います。

コロナ禍の中で天白こじょう会の会員数はこの5年間でほぼ100名の退会者が有り、今期のスタートは148名となりますが、34期生、37期生と新しい会員も増加傾向となり、行事企画、ボランティアへも積極的に参加頂き、今後のこじょう会活動もますます活性化して行くと思います。

今期で3期目の会長となりますが、この一年は34期、37期の皆さんを中心にこれからの「新しい天白こじょう会」を目指して、引継ぎを行います。

最後に、今年1年間天白こじょう会の会員の皆さんが、一緒に健康で明るく楽しく活動出来ますよう、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



天白公園の桜

総会報告

33期 地域A 青山 博美

日時：令和6年4月17日(水)10:00～

会場：天白生涯学習センター・第1集会室 47名出席

1. 開会の辞：(司会) 青山副会長

昨年度ご逝去された5名、及び井熊さんのご冥福を祈り、出席者全員で黙祷を捧げた。

2. 会長挨拶：小島会長

令和5年度も無事に終わり、殆どの計画を実施できた。また、多くの会員にご参加いただけ、大変ありがたかった、今期も自分がもう1期留



任させていただくが、皆様のご協力をお願いしたい。幸い37期生を13名迎えることができ、会を更に発展させていきたい。

3. 議長の選任及び各議案の審議

会則に基づき、小島会長を議長に選任し、議案について審議する。

1) 第1号議案：令和5年度事業報告

①総務関係：青山副会長、②行事関係：市川リーダー、③ボランティア関係：戸谷リーダー

2) 第2号議案：令和5年度決算報告：青山副会長

監査報告：福永監査役から「正確に会計処理が行われた」ことが報告された。

3) 第3号議案：令和6年度役員（案）：小島会長

- ・新たに、副会長に坪井さん、リーダーに若原さん、新田さんを配置した。
- ・天白川緑道の会長を小島さんに、天天会の会長を川上さんに交代した。

4) 第4号議案：令和6年度事業計画（案）

①総務関係：青山副会長から報告

②行事G：新田リーダーから、特に5～7月の行事について説明。多くの方々にご参加をお願いした。また11月の自衛隊守山駐屯地見学の日程が決まったことを報告。

③ボランティア：青山副会長から、「ほほえみ」は1回/月の歌声を継続する。

5) 第5号議案：令和6年度予算（案）：小島会長

- ・物価がまだ高騰しているため、広報費・会議費・事務費の増大が見込まれそう。

以上、第1号議案から第5号議案までの案件は全てご承認いただきました。

4. 報告事項：青山副会長

新入会員5名の紹介（8名は欠席）と物故者、退会者等の報告。

以上で全ての議題報告と審議が滞りなく終了しました。

☆その後木曾路・八事店で懇親会が開催され、41名が参加しました。



役員会報告（2月～5月）

33期 地域A 青山 博美

役員会 2月10日（土） 天白在宅サービスセンター・研修室 24名出席

会 長：1月の役員会で能登への義援金寄付にご賛同いただき、早速中日新聞社に2万円を持参したところ、紙面で紹介された。最近新型コロナ、インフルエンザに加えノロウイルスも多く発生している。体調管理には十分にご注意いただきたい。

鯨城会：・1月26日（金）に37期生向け区会説明会。対象29名に対し23名が出席。
・令和6年度の行事及びボランティアの日程も出た。年間計画表を作成した。

総 務：・総会・食事会、会費納入の案内を、本日袋詰めした。

行 事：・地域散策会は3月14日（木）に「旧八事村を訪ねて」。本日案内を袋詰め。

ボ ラ：・施設訪問「ほほえみ」は、2月20日（火）、3月19日（火）を予定。

・ウィメンズマラソン（3月10日実施）は2月24日（土）13:30～説明会

同好会：・天天会は、会長が西さんから川上さんに交代予定。

その他：・令和6年度の役員案を添付。役員のリ継ぎは半年から1年をかけて行う予定。

・（伊藤初枝さん）昨年、懇親会の会費を当日に集めたら非常に混乱した。今年はできるだけ会費と同時に徴収をお願いしたい。⇒（小島会長）ご要望通りに進める。

拡大役員会 3月16日（土） 生涯学習センター・第1集会室 42名出席

★開会に先立ち、1月18日にご逝去された南天白ブロック・14期・武富光子さんと、2月20日にご逝去された平針ブロック・19期・宇佐美昭諦さんのご冥福を祈り、黙祷を捧げた。

会 長：今朝畑仕事をしていたら目がかゆくなった。花粉の影響と思われるが今年は花粉が多いとのこと。花粉症の方は一層ご注意を。自分は来期も会長を勤めることとなった。皆様のご協力をお願いする。今期はコロナ前と同じように行事やボランティアを実施できた。

鯨城会：・鯨城会会長は、元南区会長の子安正明さん（32期・園芸）が信任多数で決定。
・来期も鯨城会の会費は150円/人の予定。（今期も半額で予算は足りていた）
・37期の入会状況は、鯨城会全体で210名。（加入率38.6%）男性87名、女性123名。天白は14名（1名再入学者が出て13名に）男性5名、女性8名。

学 園：・38期向け地域ミーティングは6月14日（金）10:00～在宅センターで実施。
39期向けは11月20日（水）。担当クラスは国際A。天白在住人員は不明。

総 務：・新入会員14名（1名再入学で13名に）のリストを作成し、連絡委員を確認。
3月30日（土）10:30～在宅センターで、新入会員への入会説明会を行う。
・天白ブロックの連絡委員と連絡者の見直し表を受け取った。

広 報：・天白こじょう会だより110号を本日発行・袋詰めした。

行 事：・2月行事、2月16日（金）の研修会「今後自分らしく生きる知恵」に31名が参加。

・3月行事、3月14日（木）の地域散策「旧八事村を訪ねて」には、31名が参加。

ボ ラ：・3月10日（日）のウィメンズマラソンは瑞穂区南エリアを担当。30名が参加。

・来期のボランティア行事参加希望を本日袋詰め。4月17日までにご提出を。

その他：・来期の役員構成及び事業計画について、小島会長から説明があった。

・御幸山ブロック会（佐々山会長）：4月23日（火）に会食会を浜木綿八事店で開催予定。

- 役員会 5月18日(土) 天白在宅サービスセンター・研修室 22名出席**
- 会長：**一昨日、新入会員歓迎の意味も込め、5年ぶりのバーベキューを行った。行事G・アウトドア同好会に加え、新入会員の方々にもお手伝い頂いた。今後も新入会員の力を借りながら会を運営していきたい。
- 鯨城会：**令和6年度の総会が開かれ、子安新会長以下の役員が決まった。今期の会費は150円/人とする。令和6年度の総務方針、事業方針が承認された。
- 総務：**地域ミーティングの講演について、「認知症について」を予定しているが、38期生は共通講座で講義があったとのことで、内容ができるだけ重複しないように調整する。
当日の説明を、パワーポイントを使ってできるように広報・川上リーダーに依頼。
- 広報：**・天白こじょう会だより111号を7月6日発行に向けて編集作業に入る。
・ホームページに「区の概要」等を掲載依頼中。カレンダーの充実を図る。
- 行事：**・5月16日(木)に新入会員歓迎バーベキュー大会を開催。(30名参加。内新入会員は6名)
・6月18日(火)「新聞ちぎり絵を楽しもう」天白SCで。参加申し込み21名
・7月2日(火)バスツアー「いにしへの文化と伝統工芸を訪ねて」、参加申し込み34名。
- ボラ：**・6月8日(土)天白区クリーンウオーキング。池見公園まで、3ルートで21名。
(この他に、独自に植田中央公園愛護会18名)参加予定。
・6月15日(土)(予備日22日)鶴舞公園クリーンキャンペーン。14名参加予定。
・ボランティア参加アンケートに45名から回答。一覧表を作成。
・施設訪問「ほほえみ」4月からギターに新入会員の村田さんを加え、歌集も更新。
- その他：**9月のセンターまつりに、太極拳とカラオケの参加が認められた。



大根池(天白公園)



紫陽花(形原温泉)

新役員挨拶

副会長就任にあたって

34期 国際A 坪井 徹

この度今年度の副会長を務めることとなりました坪井です。入会して未だ1年しか経たない私に副会長のご指名を頂き大変驚き、また恐縮しています。ようやく天白こじょう会のアウトラインが仄かに分かりかけてきたような状態で、果たしてこのお役が務まるのか、戸惑っていると言うのが今の心境です。

ただ一方では、昨今の本会への入会者数減少による人材難に加え、コロナ禍で2年間新規入会者が途絶えた経緯もあり、色々葛藤はありましたが、最終的には微力ながら出来る限りのことをさせて頂くこととしました。これからの1年間、小島会長や青山副会長、更には諸先輩の方々にアドバイスを頂きながら、何とか職責を全うして行きたいと考えています。

会員の皆さんがこの会を通して「明るく、楽しく」過ごせるよう、またこれから入会される皆さんが「入って良かったと思える」会にするべく努力して行きたいと思えます。宜しくお願い致します。



総務グループリーダーに就任して

34期 地域B 若原 高生

本年度の総務Gのリーダーを仰せつかりました若原です。総務Gの役目は会の円滑な運営を図る潤滑油でありたいと私は考えています。本年総務Gとしては従来の路線を踏襲するとともに、会のホームページを活用（例えば、HPのスケジュール・お知らせによる会員への連絡&報告）し、総務G業務の簡素化&効率化を図りたいと思っています。

私総務Gのリーダー以外にHPの実行委員も仰せつかっていますので、HPの更なる活用促進に寄与できると考えています。最後に会員皆様の総務Gへのご協力&HP活用（皆様、スマホ&PCのホーム画面に「天白こじょう会のアイコン」を表示しておき、週1回クリック）をよろしく願います。



行事グループリーダーに就任して

31期 生活B 新田 元廣

昨年入会し、まだ分からないことが多い中で、前任者の市川正信さんから行事リーダーを引き継ぎました。

市川さんは強烈なリーダーシップのもと行事グループを牽引され、素晴らしい成果を残されました。そんな市川さんがこれまで育てて来られた「体験活動」を継承していきたいと思い、今年度の行事テーマとして「体験活動を通してさらに視野を広げよう」を掲げました。バス旅行、地域巡り、学習会の中に伝統工芸などに触れる「体験」という要素を取り入れて魅力ある企画にし、それをまた「みんなの作品展」にも繋げていき、循環する行事企画にしたいと思っています。6月『新聞ちぎり絵』、7月『七宝焼き』の成果が楽しみです。

秋以降は、自衛隊守山駐屯地の見学、宗次ホールでの音楽鑑賞&ランチ等々、胸が時めくような企画も準備しています。皆さんの積極的な参加を心よりお待ちしております。



新入会員 自己紹介

37期 音楽A/オカリナ/植田ブロック 岩月 由紀恵

シルバーカレッジは抽選外れ、ハテどうしょう？私の教育（今日行く所）、教養（今日の仕事）は？

1997年に千種区から転居、子供達も成長しており、職場との往復でほとんど地域の方との交流なく過ごしてきました。

そこで、これからは地域に目を向けてみようかと天白こじょう会に入会しました。身体的にあちこちガタついておりますが、『これからの人生、今日が一番若い！動けるうちに、歩けるうちに』をモットーに仲間入りさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



37期 国際A/ハイキング/原ブロック 大槻 繁

私が鯨城学園に入学したのは、コロナ禍で2年間の休校後の2022年4月でした。学園の1年目は授業とクラブで忙しく、鯨城会のことはあまり意識しませんでした。2年目はクラスの社会参加委員になり、鶴舞公園クリーンキャンペーンや鯨城・堀川清掃大作戦に参加しました。そのときに黄色い旗竿を持った鯨城会のメンバーに会い、初めて鯨城会を意識しました。

その後、学園の地域ミーティングで天白こじょう会の説明を聞き、クリーンキャンペーンや清掃大作戦の他に、天白区内の公園清掃やその他の行事を行っていることがわかり、鯨城学園卒業後には鯨城会に入会しようと思いました。

天白こじょう会にはいろいろな行事があることがわかりましたが、初めは地域の身近な場所のボランティアから参加したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



37期 国際B/コーラス/原ブロック 岡部 真知子

天白こじょう会入会の目的は、ボランティア活動に参加する事です。コーラスクラブだったので施設訪問にも参加してみたいと思っております。同好会はパソコン研究会に入会したいです。今現在の希望です。

よろしくお願ひします。



37期 陶芸/写真/平針ブロック 小倉 政二

《ボッチからボッチャ、ボランティア?》

退職して半年、何もしない自分に家内が「何かしたら! することないの?」と鯨城学園を教えてくれた。

学生時代は、友達が多いと自負していて、新社会人でも同期が50人いて友人関係に不自由は無かった。しかし、何故か退職前の十数年間は、職場で自分が最年長となり、次はひと回り以上年下でした。同世代と話す機会が減ったのか、余分な話をする機会が無くなり、人見知りになっていました。

入学したのも、陶芸、写真と個人プレーが多い環境を選びました、役員選出時にはずーっと下を向いていました。こんな自分でも2年生になると、卒業展の準備に参加していました。

12月には天白こじょう会の紹介を聞いて、“名古屋气象台及び・・・見学”にもご一緒させて頂きました。こんな自分ですが、これからもよろしくお願いします。



37期 音楽B/なごやか絵手紙/御幸山ブロック 熊田 文子

鯨城学園では、2年間本当に充実した楽しい学生生活でした。在学中に図書館ボランティアのことを先輩から伺って、卒業後は是非こじょう会にと考えておりました。地域のコミュニティーは大切に思っており、これからは積極的に地元の方々との交流を深めたいと思います。

同好会も興味深い活動が盛りだくさんで、新しい世界が広がるのがとても楽しみです。

行事担当なので、メンバーの方々といろいろな企画を考え、このご縁を大切に、皆様と楽しく過ごすことが出来たらと考えております。ご指導よろしくお願いします。



37期 健康A/旅行/平針ブロック 小宮山 千恵子

仕事をしていたので地域との交流もできませんでした。天白こじょう会に入会したのをきっかけに地域と密着していきたくて思ってます。趣味は、旅行、ウォーキング、コンサート、麻雀(最近始めたばかりで超初級)です。2年前に諏訪でパラグライダーとしまなみ街道30kmサイクリングに挑戦しました。

まだまだ好奇心旺盛なのでこれからも何かに挑戦したいと思ってます。お酒を飲みながらわいわいやることも好きなので天天会も気に入ってます。

いろいろお世話になります。よろしくお願いします。



37期 国際A/重要文化財/原ブロック 白木 春美

特に趣味もなく、毎日何となく過ごしていた私ですが、同じマンションに住む方から鯨城学園のことを聞き、楽しそうと思い、入学しました。ところが、コロナ禍で2年待って、やっと講座が始まりました。

再びの学生気分が嬉しくて、色々な活動に参加し、2年があっという間に過ぎました。

卒業しても、クラス会やクラブOB会もあり、この度、天白こじょう会に入会して、地域の方々とも交流でき、更に活動の幅が広がりそうで、とても楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。



37期 文化/健康ウォーク/御幸山ブロック 虎澤 敬彦

天白こじょう会に入会させていただきました。虎澤です。

出身は、岐阜県土岐市です。「虎澤」と姓の方の多くは、土岐市出身です。ネットで調べますと全国で、150人うち80人が土岐市居住です。他県では、愛知、京都、新潟の居住の方がいます。

学園は、33期地域Bと37期文化と学園生活を送りました。今年度から、「文化専攻」は「歴史と文化専攻」に変わりました。33期の方とは、たまにクラス会が行われ交流が続いています。趣味は、落語を聴くことと映画鑑賞です。

4月から、シルバーカレッジに行きますので、こじょう会の行事には余り参加できないと思いますが、よろしくお願いいたします。



37期 国際B/太極拳/南天白ブロック 中島 あけ美

鯨城学園に入学したもののコロナで1年間休校となりましたが、国際専攻の2年間は、良き仲間にも恵まれ楽しく過ごさせていただきました。そして、卒業して天白こじょう会に入会いたしました。

私がずっと続けていること……

仕事の無い休日は、アイアンガーヨガを習っています。体の歪みを正していくことに重きをおいているヨガです。1年生の時に半月板損傷で歩けなくなった時は、整形外科に3ヶ月の通院をして、その後は、ヨガで調整修復を続けています。お陰で歩けるようにはなりました。

天白こじょう会では太極拳同好会にも休日ができる時は参加したいと思います。これから先、こじょう会で何ができるかを楽しく考えながら、皆さんとできることは一緒に楽しみたいと思います。よろしくお願いいたします。



37期 音楽 A/天文・気象/平針ブロック 仁井 淑子

思えば夫の転勤で福岡、大阪、広島と移り住み、愛知で24年が経ちました。4人の子育てに追われる中、地域に関心を向けられず、日々過ぎて参りましたが縁あって鯨城学園に通い、初めて地域のことやボランティアに触れる機会を頂きました。

これからは「天白こじょう会」の方々と共に楽しく地域貢献していければと思います。よろしくお願い致します。



37期 美術 A/国際文化/久方ブロック 間瀬 芳枝

初めまして、天白こじょう会に入会させていただきました。今年1月の初詣にも参加しました。会長はじめ気さくな方ばかりです。幅広く活動されている様子を伺うことができ安心いたしました。

天白区に住んで30年、生まれは中区、その後千種区と名古屋市内を転々としております。生粋のなごやっ子です。母親も20年ほど前に鯨城学園を卒業してボランティアなどしており楽しい話を聞かされました。

趣味は絵を描くこと、書道、映画鑑賞、カントリーダンス、旅行、読書などです。カントリーダンスは全国のイベントに参加しています。週に2-3日緑区でパート勤めをしています。

永く生きてきた者として未来を担う人たちのために知恵と生きる希望を与えていけたらと思っています。先輩の皆様のご指導のもとどうぞよろしくお願い致します。

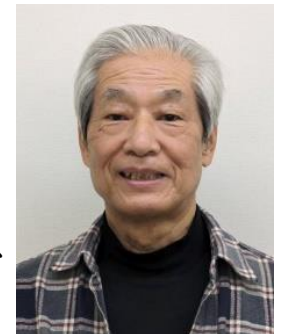


37期 福祉/天文・気象/植田ブロック 村田 一延

何事にも愉しむ遊び心と趣味悠々をモットーとしています。それが高じてか、多くの事に首を突っ込んで中途半端なままですが、スポーツ、旅行、楽器演奏、麻雀、カラオケなど、趣味にも積極的に取り組んで仲間との交流を深めています。

コロナ感染症流行の前後に2度鯨城学園にお世話になりましたが、今度は天白こじょう会に入会したので、面白そうなイベントに参加したり、地域交流の機会になればと思っています。

入会したばかりで様子が良く分かりませんが、お付き合いをよろしくお願い致します。



《陶芸を2年学び更に奥が深く、さらに職人の見習いになる！》

鯨城学園を卒業し、天白こじょう会に参加させて頂きました。先輩諸氏のエネルギーに圧倒されました。皆さん楽しく過ごされていると感じました。



私は、土に取り組み陶芸専攻を2年過ごし、何となく作品・釉薬の艶感に充実感を感じていました。思わぬ美しさを生む挑戦を繰り返し、釉薬の難しさを感じています。しかし、新たな『さかい窯』に入れて頂き、作陶に掛かり、すべての工程に自分の判断が求められる事を先輩から聞き、楽陶館での上げ膳据え膳の作陶が甘いものであると感じました。

さて今、鯨城の2年間を振り返り、他の専攻の方々の話を聞くと楽しさばかりが、聞こえてきました。生活には多くの大変さがあったはずですが。私達の陶芸専攻は、1回の授業が2時間、プレゼンと清掃を除く90分で作品を作ります。土の基本の基の菊練りから。そして「ロクロ」や「たたら」に取り掛かると、30人近くの学生のピーンと張り詰めた空気が漂います。笑い声、会話もなく黙々と正に職人の作業に入ります。土と仲良くなる為の土殺し、芯出し、土の力に負けずに体重をかけて作ります。形が出来ホットした時、指が掛かり、一瞬の動きで、形がくずれ、失敗です。気力があれば取り直し、すぐに粘土と取り組みます。神経を集中し、残念無念さの気持ちを振り払い取り組む繰り返しです。

陶芸は、練って、作陶し、削って、乾燥、そして施釉。この施釉の一瞬の動きが、陶器の吉か、はたまた凶か。釉薬は、施すことまでは我々の手の動きの範囲、一旦施釉すると思う仕上げの色彩に届くのか？窯の火に任せて、開けてビックリ期待が膨らむだけに、割れたり、ヒビがあったりすると、3~4日かけた疲れが一気に襲う。あーあ失望感。陶芸家の映像では、窯出しの際、思い通りの姿を見られぬ時、叩きつけて割っている。私は、自分の実力と思い、慰める。仲間の出来映えを見て、なんて素敵なか色合いかと、首を垂れるくやしさ。作品は、すべて自己責任。これが、陶芸、人生の魂か。

理屈でなく数を熟（こな）し、手がロクロの回転に吸い込まれると、土が自然と手に馴染む、そんな感覚を味わうと、職人の基礎に近づけたと思う。

しかしながら、施釉、釉薬との格闘は技術・知識・センス・感性による、その完成を引き出す『技』。2色の色の吹きかけで、元の釉薬と全く異なる色合いを表現する。それは、御深井と天目のコンプレッサー仕上げ、元の色彩をはねのけて、金色に輝く色彩の表現となる。何故なのか分らないところが、釉薬の面白さ。この機会に人生の再挑戦の思い、職人の世界に漬かろうと思いを込めている。

陶器の色合い、台湾、故宮に見て取れる1600年代の艶のある瑠璃色、青磁の様な秘色（ひそく）、茜色の落ち着いた色合いなど陶器の釉薬として使われ安定した色合いを醸している。難しい色合いを試してみたい。シンプルな色彩は、特に難しいと思うが故に取り組みたい。歴史をさかのぼる思いを求めて、あと何年か、『職人の見習いに取り組みたい』と思う事、しきりです。

研修会「今後自分らしく生きるための知識」に参加して

31期 地域A 市川 正信

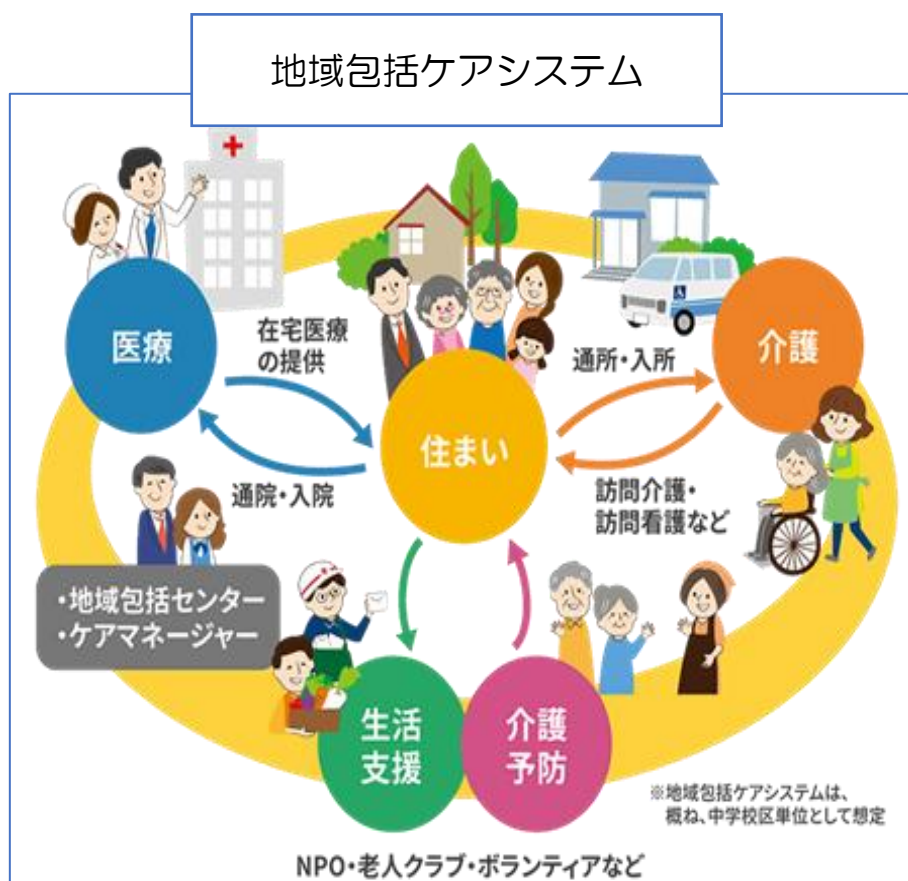
2月16日(金)、在宅センター研修室にて実施。高齢者として関心のあるテーマで、37名と多くの参加者がありました。

講師の水野正子氏から「自分らしく生きるとは何でしょうか」との問いかけから講演が始まりました。氏は東日本大震災ボランティア活動を通して「今日の日課を考えること、明日の予定を立てること、献立を考えること、買い物、他愛のない会話」などの自分で判断し決断できる日常が避難生活では困難になっていることに直面し、自分らしく生きるためには「人任せでなく自分で関わっていきける生活」が必要であることを強く感じたそうです。「今日は、あの食材でこんな料理を作ろう」「今日は、あの道を散歩してみよう」と自分で考え判断しながら生活することが自分らしい生活に繋がるのではないかと問いかけられました。



ともすれば施設に入ったら安心して快適な生活が送れると思いがちですが、自分の判断で思うように生活できない面も出てきて、快適と感しない場合もあるので施設の特性をよく理解する必要があると話されました。

その意味で、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられることを目的にしてつくられた地域包括ケアシステムは、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供できるようにつくられているので、それらのサービスを有効に利用して自分らしい生活を送ってほしいと話されました。



第 14 回 OB 文化祭を観覧して

33 期 地域A 青山 博美

第 14 回 OB 文化祭が、3 月 7 日(水)に鯉城ホールで開催されました。昨年より多い 12 グループが出演し、徐々にコロナで活動を自粛されていたのが復活してきた感じです。今年は新企画として、区のカラオケ同好会からも 7 人・組が幕間で歌などを披露されました。

当会からは多くの方々が参加されました。社交ダンスに 33 期伊藤さんと 32 期奥村さん、太極拳に 31 期川上さん、手話ダンスに 27 期宮野さん、民謡(歌と踊り)に 32 期戸谷さん、カラオケに 29 期小川さん、28 期長谷川さんと 32 期奥村さんのデュエット、30 期水本さんの月光仮面です。

皆さん、日頃の練習の成果を披露され、会場から盛んな拍手を送られていました。

出演を終えられた方々の顔を拝見すると、皆さん一様に満足そうな表情をされていました。また、鯉城会幹事の 31 期伊藤初枝さんも役員として受付などを担当されていました。

皆さんが練習の成果を披露する場所があることはとても良いことだと思います。まだ出演されないグループも多くあるようです。来年はもっと多くのグループが出演されると良いと思いました。



小川さん



宮野さん



長谷川さん・奥村さん



戸谷さん



水本さん

名古屋ウィメンズマラソン 2024 ボランティアに参加して

32期 陶芸 戸谷 和代

3月10日(日)晴れ、最高気温11度の予報であったが早朝は冷え込み、前夜に本部から防寒対策が必須との注意喚起メールが届くほどで風が強く体感温度はとても寒く感じられました。

集合時間の9時40分には、集合場所(弥富通3丁目)まぐろや石亭に30名全員集合！担当の愛知陸協審判員さんが、時間前の全員集合に「すごいですね」と感嘆されていました。

今回は、名古屋シティマラソン男女10kmコース(パロマ瑞穂スタジアム前がゴール)の約9km地点の「瑞穂区南Hエリア 60区・61区・62区のコース整備」を担当しました。(参加選手約5,000名)

2月24日(土)に配置区ごとに各リーダーから事前説明を実施していたので、皆さん段取りよくコーステープでの封印準備・車両規制コーン・コーンバー設置等作業開始し、時間通りにスタンバイできました。

沿道の観客が少なかったため、ランナー通過時に拍手で選手への応援を行う人もいました。交通規制解除の撤去指示が、事前に説明のあった審判員の合図ではなく警察官の指示となった為、撤去対応に戸惑う場面もありましたが、全員無事にボランティア活動を終えることができました。

次年度に向けて「う回路となっている歩道橋が階段のため、女性や高齢者に代わって重い電動自転車を運ぶ“お助け隊”の方々が大変苦勞しており、作業の安全面でも問題がある」と改善要望も伝え、陸協審判員に皆で挨拶して解散しました。

参加者からは、「家でTVでマラソン大会をみるより、寒くてもこうやって皆でボランティア活動に参加し、目の前でランナーが走るのを見て応援できるのは(ボランティアの本来の主旨とは異なるかもしれませんが)気持ちがいい！」と言われ嬉しかったです。



地域散策「旧八事村を訪ねて」

31期 地域A 市川 正信

3月14日(木)天候に恵まれ、午前10時、参加者31名が地下鉄塩釜口駅改札口に集合し散策をスタートしました。

音聞山と御幸山の南山麓に山畔(やまくろ)と言われる農道が下図の明治24年の八事村古地図に見られるように中根に向かって通っています。

塩釜口駅3番出口すぐ南の道を左折し、歴遊会の皆さんから、「明治の1村1神社の政策で八事神社②(地図上の番号)に、高峰神社①・八幡社②・一之御前社⑤と共に合祀されたこと」「仏地院③が水害を避けて現在の場所に移転したこと」「江戸時代には表山に7堂伽藍の大聖寺があったが暴風で崩壊し、下八事に移ったが廃寺④になったこと」「不動山大学院は大聖寺の学問所であったこと」などの史跡地の話や「八事ニンジン誕生とブランド化」「養蚕業の盛衰」など旧八事村の生業の話など詳しく教えて頂きました。

また、昭和高校の前のバス道には昔の水路が暗渠になり緑道として利用されたり、「沓打場」「市場」「東大門」「庚申前」の字名が残っていたりと現在との繋がり感じ、人の住むところに歴史ありを思った地域巡りの会でもありました。

旧八事村を散策後、昭和高校前のサガミで28名が近況や思い出話を語り合ったりして楽しく会食して帰路に着きました。



一之御前社史跡



大学院の仏像



八事神社

総会後に懇親会を開催しました

31期 生活B 新田元廣

4月17日(木)、総会後の天白生涯学習センターに2台の木曽路のマイクロバスが迎えに来てくれていた。前日まで2台配車は難しいと聞いていたので、一度に全員が移動できたのはありがたかった。会場に着いたらもう総務グループの皆さんにご協力を頂き、ブロック別に配席の準備を終えていてスムーズに席に着くことができました。

懇親会参加者は41名で、小島会長の開会の挨拶のあと、平針ブロック22期三高邦子さんの発声で乾杯。急な依頼にも関わらず気持ちよく引き受けてくださった三高さんに感謝です。新入会員37期生5名も参加して先輩諸氏との歓談で盛り上がり、飛び入りで太極拳同好会の馬場会長の一人演舞の披露もあったりして、楽しいひと時を過ごせました。

最後は新たに副会長に就任した坪井徹さんの1本締めでお開きとしました。参加された皆さん、総務グループの皆さん、ありがとうございました。



「新入会員歓迎 5年ぶり大バーベキュー大会」開催される

29期 地域B 石谷 清和

5月16日(木)真っ青な空に新緑が映え絶好のアウトドア日和に、『新入会員歓迎大 BBQ 大会』が開催されました。アウトドア同好会と行事部会の共催で、「農業センター内 BBQ CANVAS ヒラバリ」を会場に、新入会員6名を含む総勢30名が出席しました。

5年前までは、アウトドア同好会中心で毎年天白公園内のデイキャンプ場での恒例行事でした。当時は【手ぶらBBQ】ではなく【手づくりBBQ】。BBQ 道具や食材・飲み物の手配・持ち込み、火をおこし、焼いて、食べて、飲む、最後は片付けまで自分達で完結。大変な一面、火おこし上手・焼き上手他達人の発見も。今回同様お寿司や煮物、サラダ等々大人数の差し入れも頂き改めて感謝いたします。

昔話はここまで。当日は小島会長の手短な挨拶、新入会員の自己紹介と続き、アウトドア同好会 26期齊藤会長の挨拶と乾杯で大 BBQ 大会の始まりー。4か所のテントに別れ、ビールガールの37期の熊田さん、小宮山さんの「ビールはいかが!!」のウグイス声についもう1本! お肉も程よく焼き上がり徐々にビール片手にあっちへこっちへ。23期渡邊さんから「ほう葉寿司」「たけのこ」の大人数分の差し入れがあり美味しくいただきました。ご馳走様。更に日本酒のふるまい酒もあり、飲めや歌えと31期新田さん、37期村田さんのギターに合わせて全員が懐かしのメロディーに酔いしれました。

隣のテントでは某高校3年生40人がBBQしながら、「元気なじいちゃん・ばあちゃん、楽しそうでいいなー」の一言。あっという間に時間が過ぎ、34期坪井副会長の1本絞めにてお開きとなりました。

関係者の皆様のご苦勞に感謝しながら、また BBQ 大会が恒例行事として復活・継続されることを願いながら、皆は家路に着きました。



パソコン研究会・ランチ会を開催しました

30期 生活B 金丸 正美

パソコン研究会は平成22年10月に13名で発足してもうすぐ14年です。松川先生に講師をお願いして、今は「Word2010 演習問題集」を教材にしています。会員数は39名(3クラス)のときもあったようですが、現在は14名(1クラス)で運営しています。指導員は4名(坂井詔男、伊藤俊彦、谷田耕三、近藤文枝)で充実したものとなっています。



人生100年と云われる今日、これからの人生を豊かに過ごすにはパソコン技術の習得が必要、との思いでパソコン研究会を発足された諸先輩の意志を今後も引き継いでいきたいと思ひます。理想ですが「アラユルコトヲ ヨクミキキシワカリ ソシテワスレズ・・・」に少しでも近づけるようパソコンをツールとしてシニアライフを楽しんでいきたいと思ひます。

4月22日(月) 原のてんぐ大ホールで、松川先生にご出席いただきランチ会を開催しました。久しぶりの懇親会でふだん交流が少なかった方ともお話でき、楽しいひとときを過ごすことができました。

学ぶことで「いくつになっても脳は若返る！」



御幸山ブロックの令和5年度第3回ブロック会を開催

29期 生活A 佐々山 浩将

去る4月23日(火)令和5年度3回目のブロック会(会食会)を、「浜木綿八事店」にて開催いたしました。

新入会員との顔合わせを兼ねて計画しましたが、日程の都合上新入会員の参加がかないませんでした。残念ですが、それは又改めて機会を設けたいと思っております。

14名の参加でしたが、和気あいあいと終わることが出来ました。



現存する最古の日本語聖書を翻訳した

岩松、久吉、音吉の故郷の知多郡小野浦を訪ねて

26期 国際 齊藤 昌和

私の書棚には数冊の聖書があります。口語訳聖書、文語訳聖書、新共同訳聖書で、この中で一番古いのは結婚のお祝いでいただいた中型皮装版口語訳聖書です。55年たった今では、表紙はボロボロになってしまいました。

3年ほど前にNHK文化センターの講座「聖書講座～聖書和訳の歴史～」を受講。日本で最初の聖書翻訳に小野浦の漁師の3人が関わったことを知り、改めて他の聖書と読み比べました。小野浦も訪ねました。

三浦綾子氏の小説『海嶺』が松竹で映画化されており、DVDで鑑賞し単行本も読みました。『につぼん音吉漂流記』や『音吉伝』、『七人の日本人漂流記』などを図書館で借り、読み比べました。

さらに詳しく知るために改めて小野浦を訪問し、2021年に建設された『廻船と音吉記念館』の樋口館長より詳しいお話を伺いました。樋口館長は宝順丸船主・樋口重右工門の子孫に当たる方で、野間船・内海船などの尾州廻船と音吉に関する資料を展示されていました。記念館の近くには、岩松、久吉、音吉3人の功績を讃えて、1956年に日本聖書協会によって頌徳（しょうとく）記念碑が建てられています。

また、岩手県気仙沼出身の医師・山浦玄嗣が翻訳した気仙沼方言のケセン語訳の聖書（後述）に心打たれました。



《三吉…岩松（岩吉）・久吉・音吉》

1832年に尾張国知多郡小野浦村から尾張藩の江戸回米を積んで出航した宝順丸は鳥羽湊を出港後、遠州灘で遭難。14ヶ月漂流の後、北米のフラッター岬に漂着。生存者は3名のみであった。アメリカ人によって救出され、後にロンドンからマカオの商務庁へ。多くの出会いを経て、九州からの漂流民4人とともに宣教師ギュツラフ（後述）の保護を受ける間に聖書の邦訳を助ける。

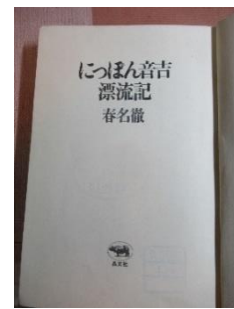
1837年に念願が叶って日本に送還されることとなったが、浦賀でも薩摩でも砲撃を受け（モリソン号事件）、帰国はならず、3名とも異国で生涯を終える。



頌徳記念碑（美浜町小野浦にあり、3人の業績を讃えている）



につぼん音吉漂流記



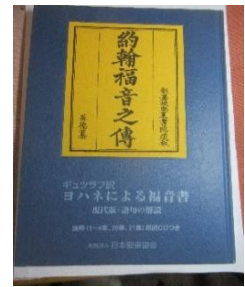
音吉伝（知られざる幕末の救世主）

《宣教師ギュツラフ》

ギュツラフ（1803～1851）はプロシア（ドイツ）生まれ。18歳で外国伝道を志し、ベルリン宣教神学校に学び、語学に才能を示した。現存する最古の日本語訳聖書はギュツラフ訳『約翰福音之伝』（ヨハネによる福音書）である。

シャム伝道を経て中国宣教師となるが、後にマラッカ、シンガポール、バンコク、東シナ海岸地方、朝鮮、琉球にも伝道。1835年にマカオにて日本人漂流民の保護を託され、日本語を学び『約翰福音之伝』『約翰上中下書』を1837年5月にシンガポールのアメリカ伝道会社の出版所から、両書合わせて1500冊ほど出版されたが、現存するものは『約翰福音之伝』16冊（日本国内に7冊）、『約翰上中下書』2冊。これらは最初の邦訳聖書である。

1831年シンガポールに着いたJ・Cヘボン夫妻がこの聖書を手に入れ、1859年来日の折に持参、日本で初めて紹介された。（現在、東京都三鷹市にある東京神学大学所蔵）



約翰福音之傳

《新約聖書 1章1節》

● ギュツラフ訳 ヨハネによる福音書

ハジマリニ カシコイモノゴザル、コノカシコイモノ、ゴクラクトモニゴザル
（始まりに賢い者ござる、この賢い者、極楽と共にござる）

● 文語訳聖書 日本聖書協会 1880年

はじめ ことば 太初に言あり、
ことば かみ とも 言は神と偕にあり、
ことば かみ 言は神なりき

● 口語訳聖書 日本聖書協会 日本聖書刊行会 1954年

初めに言があった。言は神と共にあった、言は神であった。

● 口語訳・個人訳 塚本虎二独立伝道者 内村鑑三の弟子 1962年

世の始めに、すでに言葉はおられた。言葉は神とともにおられた。言葉は神であった。

● ケセン語訳 山浦玄嗣（やまうらはるつぐ、医師）

初めに在ったのァ 神様の思いだった。

思いが神様の胸に在った。その思いこそァ 神様そのもの

山浦玄嗣は、ふるさと岩手県気仙沼地方のことば「ケセン語」でイエス・キリストの福音を語りたくて、2002～4年にケセン語訳新約聖書4部作を出版。2004年にバチカンにおいて教皇ヨハネ・パウロ2世に謁見、同著を献呈し祝福を受けた。



山浦玄嗣
日本語訳新約聖書

フラトレ® 聞いたことありますか？

31期 国際A 池田 雅子

フラトレ®は女性も男性も楽しんで頂けます。親しみ易い音楽に合わせて歌って踊り、それが心地よい全身運動になります。

イメージとしては、

「フラダンス+（上半身、下半身筋トレ）+脳トレ（コグニサイズ）
+笑い = フラトレ®」



癒しの音楽に合わせて無理なく普段使わない筋肉を使い、歌いながら笑顔で楽しく体を動かすフラトレ®, 心も体もリフレッシュしますよ！

現在、天白生涯学習センターで開催されているフラトレ®の教室に参加しています。

「めっちゃ楽しい！」のですが、教室は夜間コースのみのため継続するのが辛くなっています。昼間一緒に集まれる仲間作りができれば嬉しいなと思っています。興味をお持ちの方がおられましたら一緒にやってみませんか。連絡をお待ちしています。



写真は教室の仲間と中京テレビの「愛は地球を救う！」に参加した時の写真です。

問い合わせ先： 池田 雅子

070-1709-0014

※着信履歴を残して頂ければ、18時以降にこちらから連絡させていただきます。

「麻雀同好会」からのお願い!!

(麻雀同好会会長) 29期 生活A 佐々山 浩将

会員の募集を行っております。

初めての方・女性の方共に大歓迎の健康麻雀です。

37期生の方々もお友達お誘いの上、是非ご加入ください。

日時：毎月第1木曜日 13:00~17:00

場所：八事東コミセン（駐車場多数）

費用：部屋代として、1回につき200円頂きます（年会費等不要）

尚、お申込み、お問い合わせは、下記のいずれかにご連絡ください。

随時お受けいたします。

佐々山 浩将：090-9949-5202

綿貫 幸夫：090-1411-7733

奥村 恵子：090-7687-3651



行事予定表（7月～11月）＊5月末時点での予定です。変更・中止にご注意下さい。

行 事	実施予定日・時間等					場 所	担当者 (令和6年度)
	7月	8月	9月	10月	11月		
役員会	5(金) 13:00 リーダー会	10(土) 13:00 役員会	7(土) 13:30 役員会	12(土) 13:30 役員会	15(金) 13:00 リーダー会	天白在宅 サービス センター、 生涯学習 センター、 他	小島 明 坪井 徹
拡大役員会・総会	拡大 6(土) 13:30～				拡大 16(土) 13:30～		
広 報 こじょう会だより ホームページ更新	6(土) 111号				16(土) 112号		川上茂雄
行 事	2(火) バスツアー		28(土、29日) みんなの 作品展		21(木) 守山自衛隊 駐屯地見学		新田元廣
鯨城会他関連行事			(日程未定) 心の絆創膏	23(水) グランドゴルフ	14(木) 16区7区入		
				27(日) 天白区民祭り	16(土) 堀川清掃		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	植田中央公園 愛護会	毎月第1,3土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	植田中央公園	坂井詔男
	戸笠公園愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	戸笠公園	杉山元浩
	天白川緑道清掃	毎月第2金曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)			9～10時	天白区役所	小島 明
	天白公園第4愛護会	毎月第4土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	天白公園	水野正弘
	施設訪問	調整中 1回/月、日程を調整しつつ実施 イベント応援(先方からの連絡待ち)				あしたの丘 特養ほほえみ 寿荘	青山博美
同 好 会	グラウンド ゴルフ	毎週木曜日 毎週金曜日			9～12時	植田中央公園 天白公園	林口 強
	リズム体操 クラブ	毎月1、2、4の月曜日 (祝日や講師の都合で変更あり)			10～11:30	平針新公民館	斉藤昌和
	カラオケ同好会	毎月第1月曜日			14～16時	ザ・パルク カ- /天白	綿貫幸夫
	天天会(食事会)	毎月20日			16～18時	てんぐ原店	川上茂雄
	アウトドア会	(未定)					斉藤昌和
	史跡散策	(未定)					佐治 學
	パソコン研究会	毎月第1、2、3月曜日			13:15～14:45	生涯学習 センター	金丸正美
	囲碁同好会	毎月第3水曜日			13～16:30	原コミセン	西尾克己
	健康ウォーク	毎月第1水曜日				地下鉄原駅 9:30集合	水野正弘
	麻雀同好会	毎月第1木曜日			13～17時	八事東 コミセン	佐々山浩将
	太極拳同好会	毎月3回、金曜日			13:30～15:30	原コミセン	馬場興樹

〈訃報〉

宇佐美 昭諦 さん

平針ブロック 19期 福祉
2月にご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。



〈訃報〉

伊東 寛 さん

天白ブロック 20期 生活A
4月にご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

〈編集後記〉

猛威を振るったコロナ感染症も昨年の5月8日に5類に移行されて、漸く1年が経過しました。5年度のこじょう会活動はほぼ計画通り実施され、今年度13名の新規入会者を迎えることができました。5月16日(木)にはリニューアルされた農業センターで「新入会員歓迎・大バーベキュー大会」を開催致しました。施設訪問ボランティアで活躍中の“31期新田さんと37期村田さんのギター演奏”をバックに皆さん大いに盛り上がり、5年振りのバーベキュー大会を満喫することができました。

今年度は新しく入会された皆さんの積極的な活動がみられ、楽しいこじょう会活動になりそうです。皆さん一緒に明るく、元気に、楽しみながら健康長寿を目指しましょう。

広報リーダー 川上 茂雄

〈編集スタッフ〉



発行責任者	小島 明	
広報リーダー	川上 茂雄	
編集委員	福永 時継	青山 博美
	久野 清和	若原 高生
	加藤 眞知子	間瀬 芳枝



鶴舞公園の
バラ園